

くらしに、
いつも
*NEW*を。

多摩市定例記者会見

4月28日

学びの多層化モデル～学びの冒険パスポート 「たまなびパスポート」

- ①学校教育の枠を超えた多層的な学びの保障
- ②全ての児童・生徒が自分らしく学び、地域と共に育つことを目指す
- ③デュアルスクールは長野県富士見町との友好都市40周年記念を契機としている。

教育部教育指導課

学びの多層化モデル～学びの冒険パスポート「たまなびパスポート」

👉ポイント

- ①学校教育の枠を超えた多層的な学びの保障
- ②全ての児童・生徒が自分らしく学び、地域と共に育つことを目指す
- ③デュアルスクールは長野県富士見町との友好都市40周年記念を契機としている。

1 選べる2つの学びのスタイル

学びの出発点を学校とし、児童・生徒が平日に学校を離れて、保護者等と一緒に行った探究的・体験的な学びを授業として認定する仕組み

(1)ラーケーション

平日に保護者等と学校外の施設や地域で学ぶ
例 家族と一緒に施設見学、イベントの参加
地域行事、ボランティアへの参加
多摩川流域や農園での自然体験など

(2)デュアルスクール

保護者と一緒に一定期間、多摩市の在籍校を離れて都外の学校で学ぶ
例 長野県富士見町の小・中学校での授業への参加 など

添付資料 たまなびパスポート リーフレット

2 期間、申請方法等

(1)期間

- ・取得可能日数：年間3日から5日程度（要相談）

(2)申請方法等

- ・申請方法：保護者が事前（1週間前）に学校へ届け出
- ・出席の要件（学校外での活動を授業として認定する要件）
- ・家庭・地域・自然・企業等での体験的・探究的な学習活動であること。
- ・学習記録（写真やメモ、振り返り）を提出すること。
- ・学校が学習活動の妥当性を確認し、出席扱いとすること。

問い合わせ

教育部教育指導課

電話：042(338)6913

多摩市生きもの調査隊の取り組み結果を取りまとめました ～市民が記録する多摩市の自然～

- ①国際的なオンラインサービスを活用した市民参加型の生きもの調査！
- ②市民による10万件、2,000種の生きもの観察記録！

環境部環境政策課

多摩市生きもの調査隊の取り組み結果を取りまとめました ～市民が記録する多摩市の自然～

👉 ポイント

- ①国際的なオンラインサービスを活用した市民参加型の生きもの調査！
- ②市民による10万件、2,000種の生きもの観察記録！

1 多摩市生きもの調査隊

- 令和6年度、多摩市では国際的なオンラインサービス（アイ・ナチュラリスト）を活用して、市内の生きものの分布状況の調査を実施
- 「多摩市生きもの調査隊」を結成し、スマートフォン等で撮影した写真を投稿することで、いつ・どこで・何を観察したかを記録でき、AIや世界中のユーザーにより種が特定され、多摩市の生きもの情報が更新
- プレ調査を含め、令和2年1月から令和7年12月に10万件以上の観察記録情報が報告され、市内に約2,000種の生きものが存在していることが判明

2 レポート

(1) 内容

調査結果の概要、生きものロケーションガイド、多摩市の生物多様性ホットスポット、多摩市の重要種、多摩市の外来種など

(2) 公開

公式ホームページで公開中



3 今後

本調査結果は、ネイチャーポジティブの実現に向け、多摩市の自然環境の把握や保全に活用していく。

問い合わせ

環境部環境政策課

電話：042(338)6831

パルテノン多摩ミュージアム特別展 「パブリックアートから見た多摩ニュータウン」開催

- ①市民学芸員による5年間の調査成果を初公開
- ②都市計画と芸術の接点を紐解く
- ③市民参加による新たな展開と意義

くらしと文化部 文化・生涯学習推進課

パルテノン多摩ミュージアム特別展 「パブリックアートから見た多摩ニュータウン」開催

👉 ポイント

① 市民学芸員による5年間の調査成果を初公開

多摩市・多摩ニュータウンに点在するパブリックアートについて市民学芸員が5年間にわたり調査した成果を初披露

② 都市計画と芸術の接点を紐解く

芸術家と都市計画家の接点など、街の形成とアートの深い関わりを解明

③ 市民参加による新たな展開と意義

老朽化に直面する作品を市民自ら清掃して愛着を深めた活動事例を踏まえ、パブリックアートの新たな意義を紹介

1 特別展の概要

多摩市や多摩ニュータウンの開発過程で設置されたパブリックアートに焦点を当て、その歴史的背景から現在の保存活動までを概観する特別展を開催します。

(1) 会期・会場

会 期：2026年4月23日（木）～5月31日（日）

時 間：10時00分～17時30分

会 場：パルテノン多摩 2階オープンスタジオ

休館日：5月11日（月）・12日（火）

(2) 観覧料 無料

添付資料 特別展チラシ

2 展示の主な見どころ

(1) 市民学芸員による調査成果

230点以上の作品一覧パネルや動画で市民学芸員の調査成果を紹介。

(2) 多摩ニュータウン開発とアートの接点に関する資料

多摩ニュータウンの設計構想段階からアートが組み込まれた事例を、当時の図面や模型で解説。

(3) パブリックアートに関連する市内の作家の作品も一部展示

辻清明氏、河内成幸氏、古川清右氏などの作品や関連資料も展示。

問い合わせ

くらしと文化部 文化・生涯学習推進課

電話：042(338)6872

市民学芸員の調査成果パネル



市民学芸員による清掃活動



辻家伝来
流政之持参の
肌身仏



⇒
落合・鶴牧
「恐竜橋」
親柱装飾
検討模型
(制作上野泰)

鶴牧東公園 水の落ち口
(トロピカルタワー) 制作風景
上野泰氏所蔵

